

はじめに

突然ですが、あなたは「英語のリズム・イントネーション」と聞くとどんなことを思い浮かべますか？また、英語の「発音」と「リズム」や「イントネーション」の違いについて深く考えたことはありますか？

本書を手にとった方はきっと英語の「リズム」や「イントネーション」そして「発音」に興味を持たれている英語学習者だと思います。しかし、「発音」「リズム」「イントネーション」の3つをしっかりと区別し、“違いを意識して”日頃の英語学習を進めている方はあまり多くないと思います。

英語の「発音」は、これまで自分なりにしっかり学んできたと自信がある人もいるでしょう。しかし、「リズム」「イントネーション」に関しては、どのように学習すればよいか分からない、という人も多いのではないのでしょうか？特に「イントネーション」に関しては、「センスがないとなかなか上達しない」とか、「ネイティブスピーカーの英語をたくさん聞き、英語らしいイントネーションになるように慣れるしかない」というように感じている人もいます。

たしかに、ネイティブスピーカーの音源を何度も聞き、それを忠実に真似する練習も重要ですし、シャドーイングなどのトレーニング（音声聞こえてから少し遅れて音源の真似をすること）も効果的です。しかし、リズム・イントネーションについての基礎知識や注意すべきポイントを十分に理解しないまま、お手本をひたすら真似してリズムやイントネーション能力を向上させようとするのは非効率な点も多く、正直あまりおすすめはできません。

実際、リズムやイントネーションは習得が難しい項目もあります。しかし、実は「規則的」と言えるルールも多く、それらのルールや知識

は一度理解すればかなり応用が利きます。リズムとイントネーションの違いは後ほどじっくりお話しますが、ルールをしっかりと理解するだけでも、リズムやイントネーションは格段に良くなるでしょう。

本書では、英語の音声面の理屈・ルールのことを「英音法」（えいおんぽう）と呼び、英語の音声スキル向上のために英語学習者が知っておきたい「知識」をなるべく多くお伝えすることを重視しています。特に、英語のリズム・イントネーションの基礎知識を整理し、「感覚」ではなく「理屈」に基づいてリズムやイントネーションを理解できるように導くことがこの本の目的です。

英語のリズムやイントネーション、発音が向上すると、自分の思いを正確に伝えられ、より自然な英語で話すことができます。また、リスニングでは相手の話す英語をより深く理解することもできます。本書が英語の音声スキル上達の一助となるよう願っています。

最後に、ベレ出版の三島さんと新谷さんには、たくさんのお力添えをいただきました。お二方のご尽力なくして、この書籍を完成させることはできませんでした。ここに心より感謝申し上げます。

らいひよ◎代表 サラ

